



MMWIN[®]みんなのみやぎネット[®]

より効率的で、質の高い医療・介護サービス提供のために
Vol. 108

第9回『透析連携のためのMMWIN活用Web講座』

第9回となる『透析連携のためのMMWIN活用Web講座』を、東北大学病院腎臓・高血圧内科 宮崎 真理子准教授を座長に迎え、2023年9月28日にアステラス製薬との共催で開催いたしました。今回は県内の透析施設をはじめとする21施設25名の方に参加いただきました。

講座は2部形式からなり、第1部は岩切病院血液浄化技術部・診療推進部 尾形 佳昭部長より「地域密着透析医療におけるMMWINの活用その2」と題し講演をしていただきました。



宮崎 真理子 先生



尾形 佳昭 先生

尾形部長は、同講座の第3回でもご講演をいただいております。当時の透析連携からどう変わっていったかを踏まえ、MMWINの活用方法を発表していただきました。主幹病院が中心となり、MMWINのメールやコミュニケーション機能を活用したFAXレスの実現、高齢者の割合が増加していく状況下で、介護老人保健施設との情報共有（処方・検査データ・画像）の必要性、在宅訪問でタブレット端末を用いた情報共有などの貴重なお話をいただきました。

第2部では、東北医科薬科大学医学部内科学第三（腎臓内分泌内科）森 建文教授より「高齢腎不全患者の在宅地域連携」と題した講演をしていただきました。

高齢腎不全患者の年齢別推移、透析方法やコロナ禍の在宅医療など全般にわたって現況を踏まえた患者の生きがい支援として、在宅医療の重要性をわかりやすくお話しいただきました。

また、MMWINの活用状況についても、腹膜透析患者を東北医科薬科大学病院で受け入れる際に、診療情報の取得ツールとしてMMWINを活用したとのご報告もいただきました。



森 建文 先生

講演終了後に「患者のMMWIN加入率をあげるにはどうしたらよいか」、「加入させることによる施設のメリットが見える化できるとよい」といったご意見や、宮崎先生からは「MMWINで医療情報は参照できるが、介護情報も参照できるようになると良い」と課題提起をしていただきました。また、アンケートでは「他の医療施設の実情を知ることができて良かった。」という感想や、「透析連携導入施設での具体的な活用方法を知りたい」とのご要望もいただきました。

皆様のご意見を踏まえて、透析連携施設をはじめMMWIN未参加施設への連携導入提案や、患者加入促進のためのブース提案など連携の拡充に努めてまいりたいと思います。

お問合せ先：

一般社団法人みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会

Miyagi Medical and Welfare Information Network (MMWIN)

【住所】仙台市青葉区一番町1-15-19 【WEB】<http://www.mmwin.or.jp>

【TEL】022-395-6312 【FAX】022-395-6313 【E-mail】office@mmwin.or.jp



『MMWIN』、『みんなのみやぎネット』は、一般社団法人みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会の登録商標です。